

江津民商ニュース

事務局からのお知らせ



〒695-0024 島根県江津市二宮町神主2251-3
TEL/FAX 0855-53-3807
Mail : gotsu-minsyo@kyi.biglobe.ne.jp

「江津市長と懇談」 ～止まらぬ負担に歯止めを、3つの柱で要望提出～

気温は記録的な上昇を続け、物価は日々の暮らしを圧迫。税金や社会保険料の負担も増す中、小規模事業者や地域住民の声は、制度の隙間に埋もれがちです。江津民商では、こうした“止まらぬ負担”に歯止めをかけるべく、現場の声を集め、制度の見直しを求める提言を進めています。

8月18日、江津市長との懇談の場が設けられ、民商から要望書を手渡しました。暮らしと地域経済を守るために対話と行動が、いま求められています。

要望の柱は「直接支援と金融支援の拡充」「地域経済循環の促進」「声が届くまちづくり」の3つ。

懇談では、10月から始まる「キャッシュレスポイント還元事業」の事業者負担や問題点、東部地域の買い物困難者の課題など、現場の声を直接市長に届けました。中村市長からは「東部地域を見捨てることはない」との力強い言葉もいただきました。

今後も民商は、事業者の声を力に、地域に根差した制度改善と対話の場づくりを進めていきます。



(左から 中村市長・野津会長・今口副会長)



江津市議会では不採択

全国では採択広がる

令和7年6月の江津市議会定例会に、「インボイス制度の激変緩和措置や経過措置延長等を求める」陳情・意見書を提出しましたが、不採択となりました。

一方、全国では制度の見直しや延長を求める意見書が多数採択されており、2023年時点で367自治体が可決。直近では北海道美幌町で、北見民商の陳情により「インボイス制度の廃止等を求める意見書」が採択されています。

秋の運動スタート 消費税減税・インボイス廃止へ 署名活動本格化



給付か減税か——揺れる政局と民意の行方

石破茂総理が辞任を表明。物価高騰対策として掲げていた「全国民一律2万円給付」案の行方が不透明となり、政局は大きく揺れています。

7月の参院選では与党の給付金政策に対し、野党各党が「消費税減税」「インボイス制度廃止」「ガソリン税の暫定税率撤廃」などを訴え、結果として与党は過半数を割り込み、減税を掲げた野党が議席を伸ばす展開となりました。

国民の声は「一時的な給付より、恒久的な負担軽減」を求めており、税制の抜本的見直しが急務です。政治の迷走ではなく、暮らしと経営を守る政策こそが今、求められています。

インボイス制度廃止まで、

2割特例 8割控除 の継続を

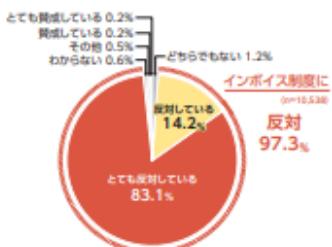


STOP!インボイス「1万人のインボイス実態調査」

97%がインボイス制度に反対

STOP!インボイスが2025年3月に実施した1万人アンケート調査では、インボイス登録により課税事業者となった事業者の90.8%が消費税に強い負担を感じていると回答し、97.3%がインボイス制度に「反対」と答えています。

初めて1年分の消費税申告となった24年分は、3カ月分です。だ23年分と比べて税額が4倍となり、「とても払えない」「消費者にしかねない」と悲鳴が上がっています。



「2割特例」「8割控除」の特例廃止で

第41回定期総会と消費税学習会を開催

創立75周年の節目に未来への挑戦を

6月26日（木）、江津民主商工会第41回定期総会を開催しました。今年10月20日には創立75周年を迎える節目の年。

島商連・諸遊会長からは「収受印押印廃止」による事業者への影響事例が報告され、制度変更が現場に与える課題が共有されました。（消費税については、総会後の学習講演会にて改めて深掘り）短時間ながら2024年度の活動を振り返り、今後の方針を確認。

2025年度の活動方針は【未来に光を見出す挑戦を】

活動の柱は

- ① 経営力を高める学習と、自主記帳・自主計算の徹底
- ② 地域振興のための自治体交渉の継続

この2本柱を中心とした活動を今後も継続して参ります。



「商売人の秋は
“学び”が主役！」

「納税者が主人公になるために」

昨年から始まった「自主申告サポーター学校」は、全国商工団体連合会（全商連）が主催する学習プログラムです。

「税のしくみを知り、自分で計算・申告する力をつけよう」ということで今年も右記日程で開催されます。

年々複雑になる税務申告。でも、私たちは“学び合う力”があります。自主申告サポーター学校で、記帳・計算・申告の基本から、税務行政の最新動向まで一緒に学びましょう。

令和7年度 年末調整・確定申告 学習会

「自主申告サポーター学校」と連動しながら、記帳・計算・申告の力を高める学習会を開催します。

令和7年度税制改正のポイントや、年末調整・インボイス制度への対応など、実務に直結する内容や、意見交換の時間も設け、会員同士で「こんなときどうする？」を共有していくたいと思います。

江津民商学習会・開催予定日
11月・12月の毎週月曜日
13:30~15:00



= 創立75周年企画・消費税学習会 =

参議院議員で税理士でもある安藤裕氏を講師に、消費税学習会を開催。民商会員に限らず、地域の事業者・一般の方も含め60名が参加。

特に40代の参加者が多く、関心の高さがうかがえました。講演では、

- ・「食料品消費税0%」の一見優しい制度に潜む罠
 - ・消費税そのものの廃止の必要性
 - ・インボイス制度が中小事業者に与える負担
 - ・本当に必要な中小事業者支援とは何か
- など、税制の本質と地域経済への影響がわかりやすく語られました。参加者アンケートでは「また参加したい」との声も寄せられ、地域経済と商工業者の未来を共に考える貴重な機会となりました。

※当日の講演は動画収録を行っており、視聴可能です。参加できなかった方や、もう一度じっくり学びたい方はお申し出ください。

「自主申告サポーター学校」開校

＜日程・内容など＞

※時間はいずれも19時から20時30分

①10月1日（水）

- ・開校あいさつ（全商連税金対策部長・服部守延さん）
- ・「不公平な税制の実態と自主計算パンフの生かし方」
- ・講師：全商連

②10月8日（水）

- ・「納税者の権利と税務調査と徴収対策」
- ・講師：立命館大学教授・望月爾さん／各地の実践報告

③10月15日（水）

- ・「自主記帳・自主計算活動と3・13統一行動の発展」
- ・各地の実践報告

④10月22日（水）

- ・「消費税・インボイス対策の留意点と2025年の主な変更点」
- ・講師：税理士・関本俊子さん

⑤11月25日（火）※ここから「2026年版パンフ」を活用

- ・「例題で学ぶ確定申告書の仕組みと税金計算」
<所得税>
- ・講師：全商連税対部員（鳥取県連事務局長）・滝根崇さん

⑥11月26日（水）

- ・「例題で学ぶ確定申告書の仕組みと税金計算」
<消費税>
- ・講師：全商連税対部員（鳥取県連事務局長）・滝根崇さん

参加費
無料

2025年版
自主計算パンフ
ご用意ください
申し込みは民商へ



◎事務所エアコン入替へのご支援に感謝申し上げます

このたびの急な設備更新に際し、会員の皆様より温かいご支援（カンパ）を賜り、心より御礼申し上げます。快適な環境のもと、相談対応や事務作業をより円滑に進めることができるようになりました。

皆様のご協力は、民商活動を支える大きな力です。今後も地域に根ざした取り組みを一步ずつ進めてまいります。